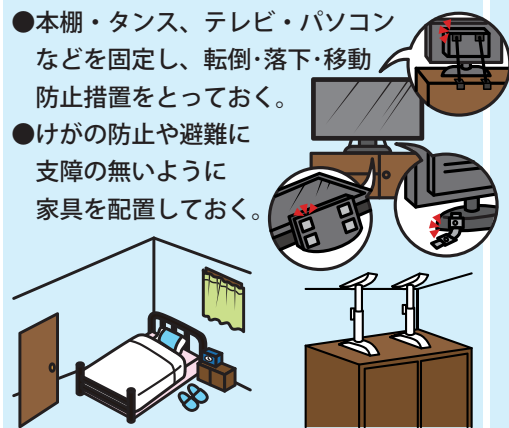


身の安全の備え

家具類の転倒・落下・移動防止の対策をしておこう!



- 本棚・タンス、テレビ・パソコンなどを固定し、転倒・落下・移動防止措置をとっておく。
- けがの防止や避難に支障の無いように家具を配置しておく。

けが防止の対策をしておこう!

- 散乱物でけがをしないように、スリッパやスニーカーなどを身近に準備しておく。
- 停電に備えて懐中電灯をすぐ使える場所に置いておく。
- 食器棚や窓ガラスなどには、ガラスの飛散防止措置をしておく。



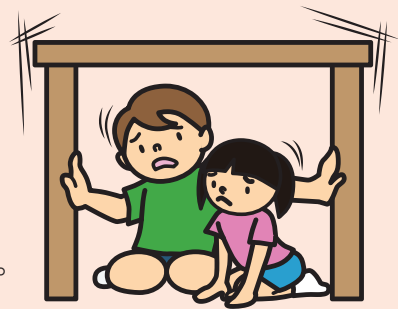
家屋や塀の強度を確認しておこう!

- 家屋の耐震診断を受け、必要な補強をしておく。
- ※P6「幕別町 木造戸建て住宅 無料耐震診断について」を参照
- ブロックやコンクリートなどの塀は、倒れないよう補強しておく。



地震だ! まず身の安全!

- 揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたときは、身の安全を最優先に行動する。
- 丈夫なテーブルの下や、物が「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」空間に身を寄せ、揺れがおさまるまで様子を見る。

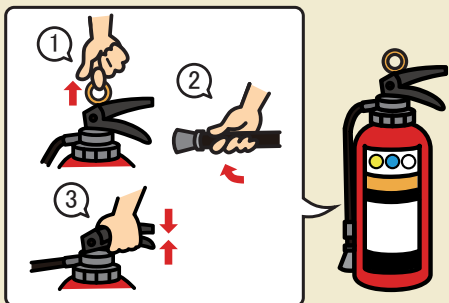


地震発生時の行動

初期対応の備え

消火の備えをしておこう!

- 火災の発生に備えて消火器の準備や風呂の水のくみ置きをしておく。



火災発生の早期発見と防止対策をしておこう!

- 火災の早期発見のために住宅用火災警報器を設置しておく。
- 普段使用しない電気器具は差込みプラグをコンセントから抜いておく。
- 電気やガスに起因する火災発生防止のため感震ブレーカー、感震コンセントなどの防災機器を設置しておく。



防災グッズを準備しておこう!

- 防災グッズは、置く場所を決めて準備しておく。
- 車載ジャッキやカーラジオなど、身の回りにあるものの活用を考えておく。



地震直後の行動

落ちていて火の元確認 初期消火

- 火を使っているときは、揺れがおさまってから、あわてずに火の始末をする。
- 出火したときは、落ちついて消火する。



あわてた行動 けがのもと

- 屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。
- 窓ガラス、看板などが落ちてくるので外に飛び出さない。



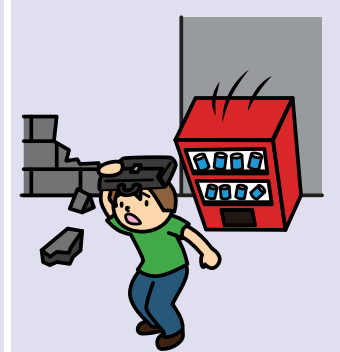
窓や戸を開け 出口を確保

- 揺れがおさまってから、避難ができるよう出口を確保する。



塀や自動販売機には 近寄らない

- 屋外で揺れを感じたら、ブロック塀や自動販売機などには近寄らない。



確かな行動の備え

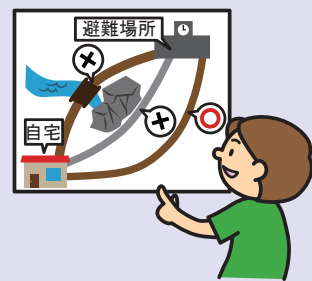
家族で話し合っておこう!

- 地震が発生したときの出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決めておく。
- 外出中に家族が帰宅困難になったり、離れ離れになった場合の安否確認の方法や集合場所を決めておく。
- 家族で避難場所や避難経路を確認しておく。
- 普段のつきあいを大切にするなど、隣近所との協力体制を話し合っておく。



地域の危険性を把握しておこう!

- 地域の防災マップに加えて、わが家の防災マップを作っておく。
- 自分の住む地域の地域危険度を確認しておく。



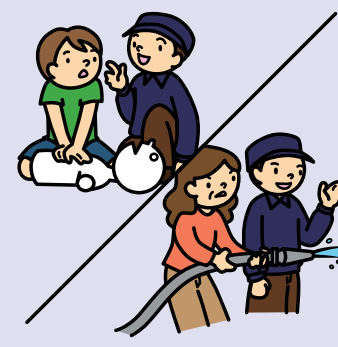
防災知識を身につけておこう!

- 新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから防災に関する情報を収集し、知識を身につけておく。
- 消防署などが実施する講演会などに参加し、過去の地震の教訓を学んでおく。



防災行動力を高めておこう!

- 日頃から防災訓練に参加して、身体防護、出火防止、初期消火、救出、応急救護、通報連絡、避難要領などを身につけておく。



※幕別町では、防災の出前講座を実施しています。  
「地震・風水害に備えて(防災基礎講座)」(担当:防災環境課)  
→詳しくは…  
幕別町ホームページ(ホーム > くらし・手続き > 地域の活動 > まちづくり出前講座)

地震後の行動

火災や津波 確かな避難

- 地域に大規模な火災の危険がせまり、身の危険を感じたら、一時集合場所や避難場所に避難する。
- 沿岸部では、大きな揺れを感じたり、津波警報が出されたら、高台などの安全な場所に素早く避難する。



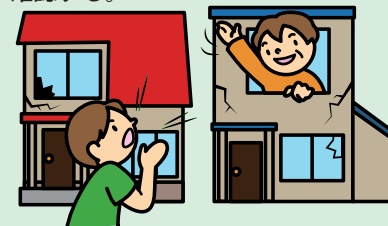
正しい情報 確かな行動

- ラジオやテレビ、消防署、行政などから正しい情報を得る。



確かめ合おう わが家の安全 隣の安否

- わが家の安全を確認後、近隣の安否を確認する。



協力し合って 救出・救護

- 倒壊家屋や転倒家具などの下敷きになった人を近隣で協力し、救出・救護する。



避難の前に安全確認 電気・ガス

- 避難が必要などときには、ブレーカーを切り、ガスの元栓を締めて避難する。

